

# 産廃業界、排出量削減に本腰 CO<sub>2</sub>マイナスプロジェクト

青年部中心  
に全産廃連

産業廃棄物処理業界  
が、CO<sub>2</sub>の排出削減の  
取り組みに業界を挙げて  
取り組む。青年部協議会の提案を

受けて、「CO<sub>2</sub>マイナスプロジェクト」を開始する。全国の会員各社がエントリーし、削減効果がある具体的な手法を選択してCO<sub>2</sub>削減を目指す。19日に記念事業推進会議を開催して正式スタート。1年間かけて行い、来年11月23日に横浜市で行われる青年部の全国大会で表彰式を実施する。

同連合会は2007年11月に環境自主行動計画を策定、業界としてのCO<sub>2</sub>削減への取り組み指針を示した。一方、青年部は今年創立10周年を迎え、来年には47都道府県で組織が整うことから、従来と異なる年間を通じて取り組みを模索、CO<sub>2</sub>マイナスプロジェクト

トを連合会に提案した。これが承認され連合会主催の青年部企画・実施で行われることになった。自主行動計画策定の07年11月から来年9月までのCO<sub>2</sub>削減への取り組みが対象となる。エントリー方式で会員の参加を来年3月末まで募る。単純にCO<sub>2</sub>削減量を競うのではなく参加する率が高い地区や、CO<sub>2</sub>削減のための優良事業事例などを報告・表彰する。

表彰項目は「エントリー率部門」（参加率の高いブロック・都道府県）、「優良取り組み部門」（削減量の多い優良な取り組み）、「エコアイデア部門」（社会貢献や地域でのユニークな取り組みなど）、「生活部門」（身近な環境保全活動）、「共同削減部門」（排出事業者、行政などの共同事業）の5部門。

大会準備委員会の藤枝慎治委員長は、「CO<sub>2</sub>削減という動脈産業に目が行きがちだが、処理業界でも積極的に取り組んでいるところもあり、また今後の伸びしろも大きい」と思っている。そうしたことをこの取り組みを通じて国や一般市民にアピールしていきたい」と話している。